

第2章 リーディングプロジェクトの実施状況

【プロジェクトごとの達成状況】

(単位：各課計画数)

	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
① 空気と水を守るプロジェクト		3			3
② 自然とふれあうプロジェクト		3			3
③ ごみを減らすプロジェクト		4			4
④ 環境を学ぶプロジェクト		3			3
合計		13			13

1 基本目標① きれいな空気 おいしい水 心安らぐ 環境のまちづくり

① 空気と水をまもるプロジェクト

(1) 低公害車導入事業（電気自動車等活用計画事業及び老朽化車両削減事業）

平成16年度に（財）日本自動車研究所の「電気自動車の普及に資する地方公共団体における電気自動車活用計画」に応募後、環境保全に対する意識が高揚し、平成21年度から低公害車の導入が進みました。

平成23年2月には経済産業省の事業に伴う「クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金」を活用し電気軽自動車を買替え、さらに平成24年度にはアイドリングストップ車3台とハイブリッド車1台を加え、また、購入時から経過年数が10年以上の老朽化した車両を順次廃車して、平成24年度末には約3割の車両が低公害車となりました。

今後とも、さらに環境配慮車両であるハイブリッドカー等の導入を考慮しつつ、低公害車の拡充と、集中管理予約システム車両の適正化を鑑み、保有台数の適正化と車両運行における効率化を推進し、積極的に平成17年度排ガス規制適合車及び平成27年度燃費基準達成車の導入を図ってまいります。

平成24年度の計画	平成24年度の成果及び評価
<p>《計画》</p> <p>集中管理車両の増車や老朽化車両の更なる廃車に努め、ハイブリッド車両の導入を軸に環境配慮車両の増車に取り組めます。</p>	<p>《成果》</p> <p>集中管理車両を9台から14台に拡充をしました。また、新規エコカーも4台導入し、老朽化した車両を7台廃車、低公害車の導入に積極的に取り組みました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>環境配慮車両の増車を達成しました。</p>

【財政課】

(2) 公共下水道整備事業

昭和 33 年度公共下水道事業、平成 13 年度特別環境保全公共下水道事業を事業開始し、着実な整備を進め、伊東処理区（宇佐美地区を含む）482.5ha、荻・十足地区 85.0ha、全体で 567.5ha を整備しました。

この結果、伊東大川の水質は平成 24 年度 BOD 1.4 mg/ℓ となり、水環境の維持、保全を推進しました。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
伊東、荻・十足地区について、効率的な面整備を進め、根幹的施設である主要な管きょ、ポンプ場、処理場の耐震補強、改築更新工事を進めていきます。	<p>《成果》</p> <p>公共下水道基本計画に基づき、主要な管きょ、ポンプ場、処理場の耐震補強、改築更新工事を進めました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>管きょ整備、改築更新工事等を実施しました。</p> <p style="text-align: right;">【下水道課】</p>

(3) 合併処理浄化槽設置促進事業

平成 2 年度から実施している浄化槽設置整備事業は、普及啓発により、市民の理解と協力を得ながら累計で 605 基の合併処理浄化槽を設置し、水環境の保全と維持を推進しました。

平成 24 年度から、下水道認可計画区域内の一部の地域を事業実施区域としたため、水質保全の改善が見込まれます。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
<p>広報媒体を活用した補助制度の周知を継続するなど、市民の環境意識の向上を図り、水質保全や水辺環境の改善に努めます。</p> <p>計画基数</p> <p>5 人槽設置替え 3 基</p> <p>7 人槽設置替え 2 基</p> <p>新築・増改築 20 基</p> <p style="text-align: right;">計 25 基</p>	<p>《成果》</p> <p>5 人槽設置替え 5 基</p> <p>7 人槽設置替え 1 基</p> <p>新築・増改築 21 基</p> <p style="text-align: right;">計 27 基</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>広報媒体による制度の周知により、補助事業の利用が推進されました。</p> <p style="text-align: right;">【下水道課】</p>

2 基本目標② 恵まれた環境を守り育てる 自然豊かなまちづくり

② 自然とふれあうプロジェクト

(1) みんなの森づくり事業（里山講座）

平成 24 年度は 2 日間の日程で、参加者が身近な自然に親しみながらアウトドアプログラムを楽しんでいただき、心身ともにリフレッシュでき、また里山・森林資源の大切さを考えることができる講座を開催しました。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
地域住民やボランティアと連携しながら里山づくり活動を推進するとともに、ボランティア活動に積極的に参加します。また、里山講座については平成 24 年度も実施する予定です。	<p>《成果》</p> <p>里山講座を 4 回実施し、計 67 人の市民が参加しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>参加した市民が健康的で活発な活動を通じ、森林に親しみながら自然環境を保全する心を育むことができました。</p> <p style="text-align: right;">【産業課】</p>

(2) 豊かな自然の創出事業

市民団体等が実施する環境学習イベントや清掃活動により、河川等が本来有する昔ながらの景観を取り戻す活動や水質改善が行われました。今後とも地域住民が自然環境の役割や保全することの大切さを改めて考える機会の提供に努めるとともに、各種団体との協働による事業の実施やその活動に対する支援を行っていきます。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
引き続きイベント等を通じて市民への啓発を行っていくとともに、各種団体が行うイベント等への支援についても行っていきます。	<p>《成果》</p> <p>地域清掃活動等への支援を行うとともに、「環境の日」のイベントや広報紙等を通じ、啓発を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>イベントへの多数の参加があり、自然環境の役割や保全の大切さについて、市民の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

(3) 公共施設の里親制度（アダプトシステム）導入事業

本制度は平成 14 年度から施行され、平成 24 年度末には登録数が 64 団体（個人を含む）となり、各里親とも一年を通じて指定の場所の清掃、除草、美化活動を実施しています。

活動内容も、森林の保護保全や道路・公園の清掃活動に加えて道路・公園の花壇の美化及び植栽の維持から河川・湖沼の美化・清掃へと広がりを見せています。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
<p>広報媒体を通じて、市民への制度の周知に努めます。</p> <p>また、市内公共施設で実施されるボランティア活動等の情報提供により、県の制度「アダプト・ロード・プログラム」との連携を図るとともに、登録団体活動状況等の把握と精査を行い、活動支援に努めます。</p>	<p>《成果》</p> <p>制度の周知に努めたこと等により、登録団体が 2 団体増加し、64 団体となりました。また、活動団体に対し、アンケート調査を実施しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>アンケート調査の実施により、活動状況を把握することができ、今後の活動支援のあり方の参考となりました。</p> <p style="text-align: right;">【建設課】</p>

3 基本目標③ 資源を大切にし 環境にやさしいまちづくり

③ ごみを減らすプロジェクト

(1) ごみ処理有料化事業

平成 20 年 10 月 1 日にごみ処理有料化事業を導入したことにより、ごみの排出量の抑制を図ることができました。今後ともごみの減量化を推進していきます。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
<p>資源ごみの正しい分別方法などを周知し、更なるごみの減量化を推進します。</p>	<p>《成果》</p> <p>広報紙や啓発パンフレット等を活用し、市民や事業者に対して啓発を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>ごみの排出量が 229 t 減少しました。</p> <p>平成 23 年度 平成 24 年度</p> <p style="padding-left: 40px;">35,011 t → 34,782 t</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

(2) 資源ごみ収集日拡大事業

ダンボール等の資源ごみの可燃ごみとしての搬出を規制し、資源ごみとしての搬出を推進しています。平成 15 年 4 月から古紙の日を月 2 回とし、引き続き古紙の日を市内全地域で月 2 回実施しています。

ペットボトルのステーション収集開始に向けて、検討を行っています。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
市内全地域において古紙の日を月 2 回実施するとともに、ペットボトルのステーション収集に向けて、モデル地区での実施について検討します。	<p>《成果》</p> <p>古紙の収集量は 1,260 t で平成 23 年度と比較すると 50 t の減少でした。また、容器包装分別収集プロジェクト会議を定期的開催しました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>容器包装分別収集プロジェクト会議において、ペットボトルのステーション収集に向け、モデル地区を設定しての実施について、具体的に検討を行いました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

(3) 生ごみ処理容器等購入補助事業

平成 5 年度から実施されている生ごみ処理容器等購入補助事業は、普及啓発施策により多くの市民の理解と協力が得られ、事業開始から累計でコンポスト容器 1,051 基、電動式生ごみ処理機 761 基の利用があり、生ごみの減量化を推進することができました。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
広報いとう、チラシの配付を行い、生ごみ処理容器等購入補助制度の普及に努め、生ごみの減量化を推進していきます。	<p>《成果》</p> <p>コンポスト容器 22 世帯 32 基、電動式生ごみ処理機 12 世帯 12 基の補助制度利用がありました。</p> <p>《評価》目標達成</p> <p>広報紙や啓発パンフレット等を活用した普及啓発により、補助制度の利用が推進されました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

(4) 廃棄物処理施設整備事業

平成 14 年 4 月 1 日に、2 市 7 町 1 村（現在は 4 市）で構成する駿豆南部地区広域廃棄物処理施設組合等設立準備協議会を立ち上げ、建設候補地の選定を行いましたが、稼働年度等の理由から平成 16 年 8 月 20 日に解散となりました。

また、県では平成 10 年 3 月に「静岡県ごみ処理広域化計画」を策定し、平成 18 年度から 2 年間の予定で計画見直しの検討を開始しましたが、7 圏域から 5 圏域への見直しについての合意形成が困難であり、圏域設定の再検討が必要である等の課題が明らかとなったため、県内における計画の見直し検討作業は中断となりました。

平成 22 年度から伊東市循環型社会形成推進地域計画に基づき、廃棄物処理施設整備事業を実施しています。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
平成 27 年 3 月完成を目途に、新 2 号炉建設を中心に施設整備を行います。	<p>《成果》</p> <p>新 2 号炉建設工事に着手し、増築棟及び機械・電気設備機器の設置等を行いました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>完成に向けて、着実に施設整備を進めることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

4 基本目標④ みんなで学び よりよい豊かな環境のまちづくり

④ 環境を学ぶプロジェクト

(1) 人材の活用と環境情報整備事業（水生生物による水質調査）

生涯学習課主催の「小学生ふるさと教室事業」と連携して松川湖にて、水生生物による水質調査を実施し、平成 24 年度は小学校高学年 37 人の参加がありました。

参加者は環境課職員の指導により、松川湖へ流入する河川に生息する水生生物を採取し、種類ごとの生息数を調べ、河川の水質状態を調査しました。

調査は水質によって決められている、水質階級Ⅰ～Ⅳの階級ごとに定められている種類の水生生物（指標生物）の生息数により、水質階級を判定する方法で行いました。

調査の結果、「きれいな水」である水質階級Ⅰに生息するものは 10 種類中 8 種類、「少しきたない水」である水質階級Ⅱに生息するものは 9 種類中 1 種類、「きたない水」である水質階級Ⅲに生息するもの 7 種類中 1 種類がそれぞれ採取され、「大変きたない水」である水質階級Ⅳに指定されているもの 5 種類は採取されませんでした。

このことから、「きれいな水」に生息する水生生物が多いことが確認され、この地点の水質が良好な状態に保たれていることが分かり、水質階級Ⅰと判定されました。

参加者は調査結果を確認する中、水辺環境の大切さを知り、自然環境を守っていかねばならないという意識を持つことができました。

なお、数が多く確認された水生生物は水質階級Ⅰのナガレトビケラ類とヒラタカゲロウ類でした。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
引き続き水生生物調査を通じ、水辺環境の保全の大切さを周知していきます。環境カウンセラーと協働し、他のイベント実施について企画していきます。	<p>《成果》</p> <p>「小学生ふるさと教室」と連携して水生生物調査を実施し、小学生高学年の 37 人が参加しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>水辺環境の保護について、参加した児童の意識向上を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">【環境課】</p>

(2) 生涯学習講座事業

「自然大好きふれあい教室（親と子の夏休み環境教室）」は講座の構成上、開催しませんでした。代わりに「いでゆ大学」や「楽しく学ぶ子育て講座」で環境意識の啓発を行いました。

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
いでゆ大学等の講座において環境関連講座を取り入れ、市民の環境意識向上の啓発に努めます。	<p>《成果》</p> <p>「ジオパーク」に関する 2 講座と「伊東の海の中は」という講座を開催しました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>参加者に身近な環境保全の大切さを理解してもらうことができました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>

(3) 小学生ふるさと教室事業（松川湖水生生物の観察、天城一石ハイキング）

市内の小学 5・6 年生 42 人を対象に、平成 24 年 5 月から平成 25 年 2 月までの間に、自然環境を学ぶ講座（松川湖水生生物の観察、天城一石ハイキング）を開催しました。

・松川湖水生生物の観察

松川湖へ流入する河川に生息する生物から、川の状態を調べ、環境美化に関する意識を高めました。（平成 24 年 8 月 3 日）

・天城一石ハイキング

「天城のブナと語る会」のメンバーを講師に招き、ふもとから石を運び、荒れてしまったハイキングコースに、その石を敷き整備するとともに、天城の自然を学習しました。（平成 24 年 10 月 20 日）

平成 24 年度の計画	平成 24 年度の成果及び評価
自然環境に対する意識向上を促す講座を開催し、環境意識の高い豊かな心とたくましいからだづくりを図ります。	<p>《成果》</p> <p>自然観察や天城一石ハイキングを行い、自然や歴史を学習することができました。</p> <p>《評価》 目標達成</p> <p>自然観察や天城一石ハイキングにより自然を学び、環境意識を高めることができました。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>